

阪神国際港湾会社など

神戸・大阪・東京で来月 阪神港集貨事業説明会

【関西】阪神国際港湾会社などは24日、4月中旬に神戸、大阪、東京で2017年度阪神港集貨事業説明会を開くと発表した。国際戦略港湾政策で

目指す集貨・創貨・国際競争力強化に向けた取り組みを説明。首都圏、関西地区の荷主・物流事業者に阪神港の利用を促す。同説明会は、阪神国際

港湾会社のほか、神戸市みなと総局、大阪市港湾局、国土交通省近畿地方整備局の4者で構成する阪神国際港湾戦略事務局ポートセールス部会が主催する。後援は西日本国際コンテナ戦略港湾政策推進協議会。

神戸市では4月12日、三宮研修センター、大阪市では同14日、大阪商工会議所をそれぞれ会場に午後3時半から約1時間、現状説明と17年度の取り組み方針を説明する。

東京では同18、19日、TKP赤坂駅カンファレンスセンターで開催。18日は午後3時半から、19日は午前11時、午後3時半からの2度実施する。いずれの会場でも説明会后、情報交換会を開く。